

豊寿苑だより



発行・編集
：豊寿苑
tel:0972
(46)2226

発行日：
平成29年6月11日

<これからの主な行事> (毎月)

- 第1金曜日 生花教室
- 第4月曜日 大正琴
- 第1水曜日 散髪
- 第2火曜日 苦情相談会
- 第2・4水曜日 選択食
- 3ヶ月に1回 民謡教室

6月13日(火) 苦情相談会・苦情相談委員会

6月18日(日) 誕生会 (宇目神楽来苑)

6月28日(水) ユニット推進会議

6月30日(金) 苑内ショッピング

7月6日(木) 県指導監査

8月18日(金) 納涼盆踊り&花火大会

6月8日~16日 豊南高校生介護実習



やよい道の駅を散策

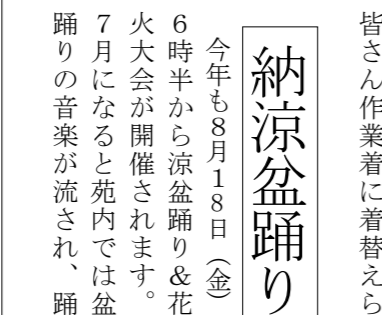
平成二九年五月一三日から、ユニットではやよい道の駅に野外散策に出かけてきました。2人から3人のグループで、リフト車を使って、道の駅に向かい、買い物を楽しんだり、水族館を見学したりしました。

当日は好天で堤防の上では、ほほをなでていく風が心地よかったです。販売コーナーでは、



タケノコなどが販売されており、苑内ではなかなか感じる事が少ない季節を感じることができました。淡水魚の水族館では子どもたちの捕まえて遊んでいた魚をみて、当時のいろいろな光景が思い出されたようです。

散策の後に食べたソフトクリームは、夏の到来を感じさせてくれました。いくつになってもソフト



納涼盆踊り&花火大会

今年も8月18日(金)6時半から涼盆踊り&花火大会が開催されます。7月になると苑内では盆踊りの音楽が流され、踊



りの練習が始まります。花火の打ち上げ場所も消防署と警察で先日確認が済みです。是非皆さんでお出かけください。

出会い

テレビで放映された世界卓球を見て、若い世代の活躍にわくわくしてきます。福原愛ちゃんや子どもの頃泣きながら練習する姿に、一緒に涙したのを懐かしく思い出されます。中学生や高校生が世界の舞台で活躍することなく活躍する姿は、私たちに元気を与えてくれる気がしました。

活躍した後のインタビューも物怖じするそぶりすら見せず、堂々と自分の意見を答える姿にも驚きました。

東北震災後に復興のために自分ができることをすると立ち上がった若者たちの姿を見て、日本はこの若者たちが変えてくれると思ったのも私だけではないと思います。今回の卓球の若者たちの姿は、もう一度明日への希望を与えてくれた気がします。

2020年のオリンピックにはどんな若者が現れ、活躍するのでしょうか。今から楽しみにその日を待ちたいと思います。

日赤奉仕団の清掃ボラ

五月二十九日 田中会長を始め五十四名の方が苑庭の草取りのボランティア活動を行ってくださいました。日赤奉仕団の方々は今までも幾度となくこの活動を続けられています。当日は総会のあと、皆さん作業着に着替えら

出会い

今回はユニットフロアでの行事でしたが、他のフロアでも同様な行事が行われます。

新入職員の紹介

今年度の4月から一緒に働くようになった職員を紹介いたします。①氏名②住所③休日の過ごし方④好きな言葉でインタビューしました。

- ① 渡邊正二郎 (係長)
- ② 佐伯市鶴見
- ③ 洗車・お魚釣り
- ④ 基本に戻る



拘束を職員全員が体験します

研修開始に当たり漏れたおむつを実際に使用し、トロミのあるお茶を飲みました。オムツを使用することには羞恥心があり、施設を利用しての利用者さんと同じようにオムツを使用し、長時間濡れた状態であることも感覚を理解することができました。トロミをつけたお茶は、飲むという感じはしませんでした。そのお茶を一杯飲むのも時間がかかりました。ベットで拘束され、

- ① 佐々木寛 (介護員)
- ② 佐伯市霞ヶ浦
- ③ 本屋巡り (その後家でだらだら)
- ④ 乾坤一擲



- ① 東 真由美 (栄養士)
- ② 白杵市白杵
- ③ スポーツ観戦
- ④ 朝の来ない夜はない



- ① 大附葉子 (介護員)
- ② 佐伯市直川
- ③ 合気道を習ってます
- ④ 笑う門には福来たる



- ① 盛田裕一 (生活相談員)
- ② 佐伯市弥生
- ③ パソコン・魚釣り
- ④ 神は細部に宿る



苑長より

日頃より、豊寿苑に對しまして、施設ご利用者様をはじめご家族の皆様にご協力いただきまして、心からお礼と感謝を申し上げます。このたび、平成29年4月1日より「佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑」の苑長に就任いたしました染矢芳樹でございます。当施設での勤務は3年目となりますが、めまぐるしい制度改革や福祉事業を取り巻く環境の変化の連続で、その対応に追われる毎日です。豊寿苑の理念であり、また「入苑者の方々のその人らしい生活」を大切に、快適な暮らしが出来るよう職員が一丸となり、ご利用者様がいつまでも健康で、そして笑顔あふれる生活を送れるよう努めるとともに、地域に根ざした施設づくりを実現していきたいと思っております。また、これまで社協が運営してきた10年間のノウハウを活かし、住み慣れた地域の施設で、安心して過ごしていただけるよう、微力ではありますが努めて参りますので、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。